

# 大門坂

10月臨時号 月田小学校だより

平成29年10月11日(水) 校長 小林幸雄

## 現代人と祖先を結ぶもの

### ～春日神社の祭典に臨んで～

先日、春日神社の祭典へ参加しました。古式ゆかしいしきたりに則り、白い着物を身にまとった神主さんにより祭典がとりおこなわれました。

キラキラと輝く装飾がなされた見事な御神輿。神が乗り移った2台の輿が、ゆっくりと荘厳な雰囲気の中で境内を練って進みます。

境内の内外には、屋台がいくつも並び、子どもたちは嬉しそうに足を運びます。「今日は嬉しいね」と声をかけると、どの子も満面の笑みを返します。

さて、我々現代人と祖先を結ぶものがあるとするならば、それはいったい何でしょう。

それは神社であり、五穀豊穡を祈り感謝する秋の祭だと思えます。仮に、過去にタイムスリップしたとしても、我々がほぼ同じ風景の見える場所、それが神社であり、鎮守の森ではないでしょうか。

このようなことを感じながらしばらく境内に身を置き、氏子の皆さんと貴重な時間を共有させていただきました。

祭りの翌日、しかも三連休の後です。いつものように大門坂を登ってくる子どもたちの表情には少し疲れが残っていました。(笑)

言うまでもなく秋の祭りは、新米やお餅などを供え、神様に豊作を感謝する行事です。

ところで祭りが終わると、神様は、どうなさっているのでしょうか。

次の3択で子どもたちに予想させました。

- ①大きな行事の後、ゆっくりのんびりしている。
- ②どこかへ旅立つ。
- ③神のことだから神様に聞かねば分からない。

ヒントとして、10月の昔の呼び名「神無月」と板書しました。そして近くの子どうして相談させると、大半の子が②に手を挙げました。

全国の神々は出雲に集まり、来年の縁談や天候、作物や酒の出来具合について会議をされていると言われています。もちろんお酒好きの神々、おそらく一献やりながらのことでしょう。

「でも、この月田の地に神様がいなくなると少し心配です。でも、ちゃんと留守をしてくれる神様もいるんです。例えば、恵比寿様、亥の子様、荒神様(台所の神)です」と子どもたちに伝えました。

以上、昔の人々の考え方に浸ることの出来たひとときでありました。



<1・2年いもほり体験>

## 先人は、片道一里半の夜道を通い続けた…

9月最後の児童朝礼の一コマです。

「最近、校長先生がはまっている本があります」と言って一冊の文庫本を取り出して見せました。

池波正太郎さんの『おにへいはんかちよう鬼平犯科帳』シリーズです。このような本は仕事で読む本ではありません。楽しみとして読む本です。寝る前のほんのちょっとした時間に読むのです。時間にして15分から30分の短い読書です。

でも、「ちりも積もれば山となる」という諺にあるように、4月から夏が終わるまでにシリーズのうち17冊を読了しました。小さなことの積み

重ねは大きな山となる、その実感を示すため文庫本をずらっと積み上げて見せました。積み上がる本の山を見て、ホォ〜という声が上がりました。

さて、ここで問題です。

昔の人は、今のように読みたい本を簡単に読めたのでしょうか。

予想は、次のように分かれました。

- ①ほとんど同じように読めた。0名
- ②少し苦労した。けど読めた。約10名
- ③本を手に入れるのも大変だった。約50名

解を示す前に、江戸末期に活躍した勝海舟のエピソードを紹介しました。

勝海舟は、22歳で蘭語を始めます。

ある日、オランダ語の兵学書を本屋で見つけます。でも極貧の海舟には買う金がありません。やっとの思いでお金の工面をし、その本屋に出かけると既に売れてしまった後でした。

しかし、彼は諦めません。本屋の主人に買い求めた人のことを聞き出し、その人の家を訪ね、その本を譲ってほしいと懇願します。しかし、譲ることも貸すことも出来ないとつれない返事…。

ここまで言われたら諦めるしかありません。

しかし、それでも諦めなかったのが海舟、「あなたが読まない時間にだけ私に見させてほしい」と願い出るので。

さすがに相手も折れます。「我が家で読むのならば、夜の10時から明け方までなら貸す」と約束してくれました。以来、海舟は、毎晩、片道一里半の夜道を歩いて通い続けます。そして、半年後ついに写本を完成するので。

このようなエピソードを聞けば、昔の人は、本を手に入れることだけでも大変だったことが分かります。どの子も真剣な表情で聞きいておりました。最後に、次のように語りました。

読書の秋です。ゲームばかりしていると賢い人にはなれません。賢い人、成功する人は必ず本を読み続ける人です。朝起きて、顔を洗い歯磨きをする。これと同じように「読書」することが当たり前の子になってほしいと思います。

## 奈良・京都・大阪へ修学旅行

6年生13名が、9月下旬、2泊3日の修学旅行

行に行ってきました。

1日目は、法隆寺・東大寺を見学した後、京都へ入り清水寺の見学。2日目は、金閣・銀閣・二条城・太秦映画村等の見学をしました。3日目は、USJを存分に堪能してきました。



<金閣をバックに記念写真>

この修学旅行にも月田奨学会から多額の補助を頂いています。大事なことなので、このことを子どもたちにも伝えております。

楽しい中にも規律ある行動で、座学では決して学ぶことの出来ない歴史の重みを肌で感じる事が出来ました。

## 真庭版ラジオ体操に登場!

過日、真庭版ラジオ体操のプロモーションビデオの撮影が月田小でありました。

10月1日の月田健民運動会でも披露されたラジオ体操です。全員おそろいの「まにぞう」の帽子をかぶっての撮影でした。この「まにぞう」の帽子は、職員による手作りです。

これを契機に、体力作りにも頑張ります!

(杉山 昇 教頭)

